



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長(会長エレクト)山田富男
幹事 栗原和明 ・ クラブ管理運営委員長 内田 学
例会場 所沢市星の宮1-3-5 〒359-1127 セレス所沢 TEL.04-2923-4122
事務局 所沢市けやき台2-7-6 〒359-1118 安田第三ビル206号 TEL.04-2926-1666
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーキャップにご利用ください)

クラブ	所沢中央	所 沢	新 所 沢	所 沢 東
例会日	月曜夜間	火 曜 日	火曜夜間	木 曜 日
例会場	セレス所沢	野村證券	セレス所沢	セレス所沢

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1222 回例会 2011・8・23

卓 話	例会当番	記念祝福
8/23「食中毒と予防」 所沢西 RC 会員 内田 学様	須澤 一男	
8/30「百年前に活躍した所沢人」 所沢郷土美術館 館長 平塚 宗臣様	鈴木 真澄	

■出席報告	
月 日	8/9
会員数	39
出席者	30
出席率	76.9%
前回修正	92.3%

会長挨拶

室伏 秀樹



本日の卓話の講師にジャパンエコー社の原野城治様をお願いしました。

毎回の如くお呼びすると政局の動きがありますが、居座る首相に動きがあるのでしょうか?よろしく願いいたします。

会員だった大東先生が、病氣療養中のところ8月2日(火)に硬膜出血で亡くなりました。84歳でした。ご冥福をお祈りします。また、お手伝いをいただいた親睦委員会の皆様にはご苦労様でした。

南相馬市より避難している、つながり食堂が昨日発売の週刊現代の巻頭グラビアに掲載されました。

コピーをお配りしました

大東先生の告別式の日職業奉仕部門セミナーが開催されました。小暮委員長に出席していただきました。後ほどご報告をお願いします。

本日の会長挨拶はその職業奉仕部門セミナーの田中毅 2680 地区パストガバナーで尼崎西ロータリークラブ所属の講演でした。

ロータリーの源流というホームページを立ち上げられていて、見識には以前から感服していました。おもしろい炉辺談話が載っていました。

震災後にガバナー事務所に集められた義捐金についてです。

最新の情報によると、ガバナー会に集められた義捐金は9億6100万円で、そのうち被災地区に送られた義捐金は僅か1億2300万円に過ぎず、残りの8

億 3800 万円はガバナー会にプールされ、今後 5 年間かけて 10 億か 20 億の寄付を募って、被災児童の奨学金と 5for1 プログラム(5 つの非被災クラブが 1 つの被災クラブを支援しよう)に使うことに決定したとのことです。

さらに驚いたことには、そのうち 5000 万円が管理運営資金として、さらに 5000 万円が予備費としてガバナー会に保留されるということです。私たちはガバナー会の経費のために義捐金を支払ったのではありません。全額を震災復興復旧に使ってもらいたいから、快く寄付に応じたのです。中略
ガバナー会には義捐金を分配する権限はありません。親睦、連絡調整機関です。

現在、被災地の沿岸地域にある 23 クラブが存亡の危機にあると聞いています。

どうぞ速やかに、ガバナー会から貴重な義捐金を取り戻して、被災地区を直接援助する活動を展開してください。そしてその使い道は一番地元のニーズを知っている被災地区に任せようではありませんか。

とありました。今後はこの考えで行きたいと思えます。

幹事報告

栗原 和明

理事会報告

- 1、前年度決算報告が承認されました。
- 2、10月11日(火)企業見学について(職業奉仕委員会)承認。詳細については、例会終了後行います。
- 3、スターティングパーティー会計報告承認

幹事報告

*立原ガバナーより公式訪問の際、あたたかい歓迎をいただき誠にありがとうございます。「明るく！楽しく！美しく！」1年間がんばりましょう。ご協力、よろしくお願いします。と文書が届いております。

*第一回 R 財団部セミナーのお知らせ・・・9月10日(土)13:30点鐘 国立女性教育会館

*地区大会・記念ゴルフ大会のご案内・・・9月20日(火)霞ヶ関カンツリー倶楽部 各クラブ4名以上の登録

*学友会ニュース・・・7月号、8月号

- *第3グループ会長・幹事会のご案内・・・9月7日(水)18:00～ 入間産業文化センター
- *週報・・・飯能 RC、入間南 RC、新狭山 RC、入間 RC

職業奉仕委員長

小暮 博文

企業見学が「MITSUBISHI」横浜ショールームと決定致しました。企業見学と楽しいディナーということで多勢のご夫人の参加をお願い致します。

職業セミナー報告

小暮 博文

地区職業奉仕委員長 田代委員長は「我等の生業」の編纂についてでありました。各クラブに我等の生業についての投稿のお願いが発表されました。

決算報告

前年度会計 小暮 博文

決算書通り、理事会で承認されました事を報告致します。

監査報告

代読 宮岡 實

平成23年7月22日(金)10:00より、事務局において、所沢西ロータリークラブ細則第11条第2節により、2010、7、1～2011、6、30の期間の監査を実施しました。関係諸帳簿、証憑書類等所定の監査を実施し、その財源及びすべての使途が正確である事を認めました。以上報告致します

監査人 渡部 照夫

ニコニコボックス

内田 学

中井 常雄様 本日はお世話様になります。

室伏 秀樹 本日の卓話 馴染みの原野 城治様です。よろしくお祈りします。大東先生のご冥福をお祈りします。週刊現代デビューをしました。

栗原 和明 原野様ようこそお越し下さいました。よろしくお祈り致します。

豊田吉三郎 週刊現代に室伏さんと共に南相馬より避難してラーメン屋をはじめた佐藤君及び近所の応援者と一緒に写真が掲載されました。

吉田 栄治 中井 常雄さん、本日は良くいらっしゃいました。ごゆっくりどうぞ。

- 平方 真一 日本カントリークラブ中井社長様、本日はようこそお出で下さいました。
- 大館 良典 大東先生の葬儀に都合で行けませんでした。大変申し訳ない事でした。ご冥福をお祈り致します。
- 本橋 正夫 先日の大東先生のお通夜、葬儀、親睦委員会のお手伝いの方々ありがとうございました。御苦労様です。
- 内田 学 長男 宏、カナダへ短期修学で、無事、アルバータ大学に着いたとメールがありました。
- 荻野 賢司 体調不良の為長らく欠席致しました。
- 大館 信夫 前回欠席。
- 小久保 昇 本日欠席。
- 山崎 武邦 本日都合により早退させていただきます。
- 大原 律子 昨日、電話回線を「光」に変えて頂き、たびたび接触不良を起こしていた電話機も白くて、可愛くなりました。又、先日、事務所の鍵を折、鍵穴に鍵が半分残りアセリました。本橋さんには大変お世話様になりありがとうございました。



卓話 ◎メルトダウンした菅政権

一般財団法人代表理事

原野城治様



菅政権の内閣支持率は各紙の8月の世論調査で軒並み急落し10%台となった。読売新聞の場合、支持率は18%と、退陣前の鳩山内閣の19%を下回った。菅首相に「すぐやめてほしい」「8月末までに辞めるべきだ」は合わせて68%に達した。

卓話の直後、民主党と野党の自民、公明両党は、特例公債法案、再生エネルギー特別措置法案の処理を巡り、民主党の大幅譲歩で急転直下、合意した。この結果、菅首相が退陣の条件としていた3条件、つまり第1次補正予算と特例公債、再生エネルギーの3法案が8月末までの今国会ですべて成立することになった。与野党に外堀を埋められた菅首相は、8月10日の国会答弁で、月内の退陣の意向を表明せざるを得なかった。

◆統率力3流、粘りは1流

菅首相が6月に退陣を示唆することで始まった混迷は、丸3カ月に及んだ。菅首相がなぜだめなのか。改めてそのことを振り返ると、最大の理由は国難にあって与野党を結集する「挙国一致」の政治体制を確立できなかったことにある。背景には、菅首相に代わる有力な政治リーダーが与野党にいなかったことがあるが、菅首相が、「統率力は3流」

と言われながら「粘りは1流」といわれるしぶとさを発揮して、政権に固執したことが、与野党の足の引っ張り合いなど、被災地を置き去りにした政治を展開することになった。

民主党が約2年前の政権交代の際に掲げた「政治主導」がまやかしかつたことも混迷を深めた。ノウハウと経験を持つ官僚機構を十分に使いこなせず、政府の総合調整機能を著しく低下させた。政務三役を中心とした小賢しい政治介入は、官庁の弊害と言われた「縦割り」をはるかにしのぐ「オレ割り」弊害政治と批判された。

◆与野党協力に配慮なし

菅首相のもう1つの大きな失態は、与野党協力への配慮のなさだった。大震災後の8日目に、菅首相は自民党の谷垣禎一総裁にこともあろうに電話で入閣を要請した。事前の根回しもない唐突な要請が即座に断られたのは当然だが、そのことが、その後の与野党協力の道を封じたと言える。

菅首相の退陣移行表明後、岡田克也幹事長は「信頼関係を築きあげ、実績を重ねていく延長線上に、部分連立や大連立が具体化してくることは十分あり得る」と述べ、新首相の下での自民党などとの大連立も視野に入れていることを表明した。リーダーが変わることで、局面は一転する。

◆小沢戦略の選択肢

菅首相が辞めないもう1つの理由は「反小沢」だった。首相は3・11以降、一段と反小沢色を強め、最終的には小沢グループを民主党から除名し、衆院解散では「反小沢」を掲げて選挙を行い、民主党を再生させる構えすら見せた。その小沢一郎元代表は、菅退陣の状況でどう動くか、改めてその動向に関心が集まり始めている。

小沢氏の政治資金収支報告の虚偽記載をめぐる強制起訴による裁判は9月末に第1

審判決が出される見通し。しかし、石川知裕被告ら3人の元秘書の「小沢氏に報告」という供述が、東京地裁公判で不採用になった。こうしたことから、小沢氏は第1審での「無罪一復権」に自信を深めていると言われる。小沢氏は「党内懐柔」による党再建戦略に踏み出すのではないかとみられている。

その戦略は「主導権回復」。求心力回復のため、次の代表選挙で「勝ち馬」に乗る戦略を取らざるを得ず、その中で小沢氏が描いているのは野田佳彦財務相への相乗りではないかとみられている。

もちろん野田氏には小沢サイドから見て問題がある。反小沢のもう一人の急先鋒でもある仙谷官房副長官がいち早く「野田擁立」に動いた経緯があるからだ。しかし、その一方で、野田氏は小沢氏の「政治とカネ」問題での処分は一切かかわっていない。このため、小沢サイドには「野田は摩擦を起こさず、担ぎやすい神輿」という思惑がある。

◆本命・前原の苦悩

次の民主党代表候補の1番人気は前原誠司・前外相だ。読売新聞調査では21%で、枝野幸男官房長官、岡田幹事長、小沢氏他を大きく引き離している。しかし、本命にもかかわらず党内では「一回休み」の空気が漂う。外相だった3月に外国人からの違法献金問題が発覚、引責辞任したことが尾を引いている。すべての清算が済んでいるわけではない。本人も慎重な対応ぶりだ。

また、前原氏の後見人といわれる仙谷氏も、ポスト菅はワンポイントリリーフでつなぎ、来年9月の代表選挙で本命・前原を担ぎ、総選挙に臨み世代交代で民主党再生を狙っているとされる。しかし、党内には、次の代表選挙は民主党として最後の代表選になる可能性もあるとの見方も強く、前原氏の出馬を求める声もくすぶっている。政界の一寸先は闇だ。(了)